
魔法少女と影歩む戦士

やまあざらし

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

魔法少女と影歩む戦士

【Nコード】

N1517M

【作者名】

やまあざらし

【あらすじ】

自分は殺すことしかできない。

ならば、この殺す力で、

誰かを護りたいと思ったんだ。

もしも時間が巻き戻せるのなら、僕は君に伝えたい。

あの恋は僕にとって炎であると同時に光であったのだと。

あの頃の僕は世界の全てが敵意に見えて、冷たく鋭い槍を閃きかせているかのように想っていた。

お前は必要のない人間だ。幼いころから言われ続けたその言葉はまるで蛇のように心臓に絡み付き決して解けることのない呪詛のように僕を縛り続けていた。

その呪いを解いてくれたのが君だった。

春水の流れる暖かな風が吹く丘で下弦の月を見上げながら君が言った何気のない一言が僕の中にある重い塊を雪のようにとかしてくれたんだ。

その時、僕を覆っていた暗い空が雲の如くに掃われて晴れ渡る青い空を見るような喜びを覚えた。

そして僕は君に恋をした。

単純だと君は笑うだろうか。でも僕が一番望みながらもだれも掛けてくれなかった言葉を君は当たり前のように僕に与えてくれた。まるで渴いた砂漠に水がしみるように君の存在が僕の中に広がっていった。

僕の世界を優しく、美しく輝かせてくれたのは君だった。

君を失った世界は再び、冷たく、暗い、海の底のようなところに戻ってしまった。

僕は、本当は、ずっと、ずっと、君と一緒にいたかった。

それでも、僕は君を裏切らなければならない。

謝罪はしない。僕には君に許しを請う権利など持っていないと知っているから。

だけど、これだけは信じてほしい。

僕は、君に一生分の恋をした

ここ半年で世情は大きく変わった。

止まることのない大河のごとくに移ろう時代の中で常識や正義と
いったものも共に変わりゆく。

今はまさにその時代の節目と呼べるものなのだろう。

国を統べる者が変わり、それと同時に始まった魔女狩りとも呼べる
異端の虐殺。

深い海よりも暗い深淵で生きてきたものたちに人智を超えた殺戮

と理不尽な死途が降りかかった。

アトリ・アランもその災厄が降りかかった一人であった。

春の訪れを知らせる柔らかな温かさを孕んだ風が吹く夜。

薄い雲が空に座す月を隠しぼんやりとした淡い光が下界を照らしている。

果てのない程に広い荒野の小高い丘の上に広がるのは鼻孔を突き抜ける粘つく血の匂いと、復元するのが不可能なほどに解体された無数の元人間の残骸。

まき散らされた血によって地面が赤い。

まるでそこだけが異世界のように、夜の闇さえ血の赤に染まっているかのように思えた。

その中心に、アトリは卵を守る親鳥のように蹲っていた。

身に纏う漆黒で塗りつぶしたかのような外套は所々が切り裂かれ、焦げ、破けており身体中から止まることなく血があふれ出ている。

顔にはまだ熱を孕む、自分のものでない血糊で化粧されている。

アトリが抱えるのは小さな命だった。

まだ五つにも満たない小さな幼子。

初めて目の当たりにする命の奪い合いに感情がついていかなかったのか、眼を見開いたまま声もあげずに涙を流していた。

アトリは思った。

自分は何も守れなかったと。

誓いも、約束も、自分が抱えるこの小さな命さえも、何一つ守ることができなかった。

血と共に熱と意識が失われていく。

与えられた致命傷は一つや二つではなかった。

今生きているのが不思議なほどだ。

つい数瞬前まで殺し合いができたことが奇跡と呼べるほどの深手。

アトリは静かに瞼を下ろした。

腕の中から自分の名前を咆哮するように叫び続ける声が聞こえる。

懺悔と悔恨の蛇が心の臓を締め付けるかのように胸が苦しくなるのは裏腹に、自分を呼ぶ声は徐々に徐々にと霧がかかり遠ざかっていく。

そうしてアトリは、闇の深淵へと自らの意識を手放した。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1517m/>

魔法少女と影歩む戦士

2011年10月7日02時34分発行